

進路だより

第8号
R. 3. 7. 2
川口市立岸川中学校

来春の埼玉県公立高校入試について

埼玉県教育委員会は6月29日、来春の県内公立高校入試について、募集人数の変更を公表しました。中学校卒業予定者の増加に伴い、全日制の募集人員を680人増と発表しました。具体的には、県立川口や大宮東などの18校では募集定員を各40名増やします。募集停止の高校も1校あるため、全体では680名増となります。定時制では、川口市立高校が20名減となります。

～募集人員が増える全日制高校～

○上尾鷹の台 ○朝霞 ○朝霞西 ○伊奈学園総合 ○浦和北 ○大宮東 ○桶川
○春日部女子 ○川口 ○川越総合 ○川越西 ○熊谷西 ○越ヶ谷 ○志木
○庄和 ○草加南 ○所沢西 ○富士見

※川越総合のみ総合学科、他は普通科

～募集人員が減る定時制高校～

○川口市立 20人減（総合学科）

*詳しくは、埼玉県教育委員会のHPや各高校のHPでご確認ください。

また、4月の段階で、学力検査問題の出題の基本方針についても発表されています。

～入学者選抜における学力検査問題の出題の基本方針～

- (1) 中学校における平素の学習を重んじ、中学校学習指導要領に基づいて出題する。
- (2) 基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題の出題に配慮する。
- (3) 各教科の目標に照らして、受験者の学力を十分に把握できるように、出題の内容及び出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めるよう配慮する。

(1)の「中学校学習指導要領」は、中学校の授業内容のもとになることから、教科書も「中学校学習指導要領」に基づいて編集されています。ですから、授業で習ったこと、教科書に書かれていることが出題されます。

(3)の「記述による解答を求めるよう配慮する」は、説明して答える問題を出題することを表しています。限られた時間ですから、すべて説明する問題にはなりません。考察して答える問題が多くなっています。日頃の授業で、自分で考えたり、考えをまとめられるように取り組んでいくことが大切です。

昨年は、新型コロナウイルスの影響を受けた休校による授業の遅れに配慮し、3年生での学習内容から一部縮小されて出題されました。昨年の過去問を学習するとき、各教科出題範囲からどの部分が除かれたのかを確認して学習しましょう。

学校説明会・部活動体験

川口工業高校の第2回体験入学等の案内が届きました。他の高校について調べたところ、左の

川口北高校説明会 8月19日(木)
鳩ヶ谷高校一部の部活動体験 7月30日(金)
川口市立高校説明会 8月22日(日) など

ようにHPで紹介が出ていました。事前申し込みが必要な高校があります。人数制限している高校もあるので、気になる高校を調べ、早めに申し込みましょう。